

フクロウ

アウルコート真駒内のキャラクターはふくろうです。そもそも「アウル」の名前は、英語でフクロウを意味する「owl」から取ったもの。幸せを呼ぶ鳥、森の哲学者などさまざまな呼び名を持つフクロウは、「不苦労」と書き表すこともでき、高齢者のための「不苦労」の理想郷を目指す私たちに、びっ

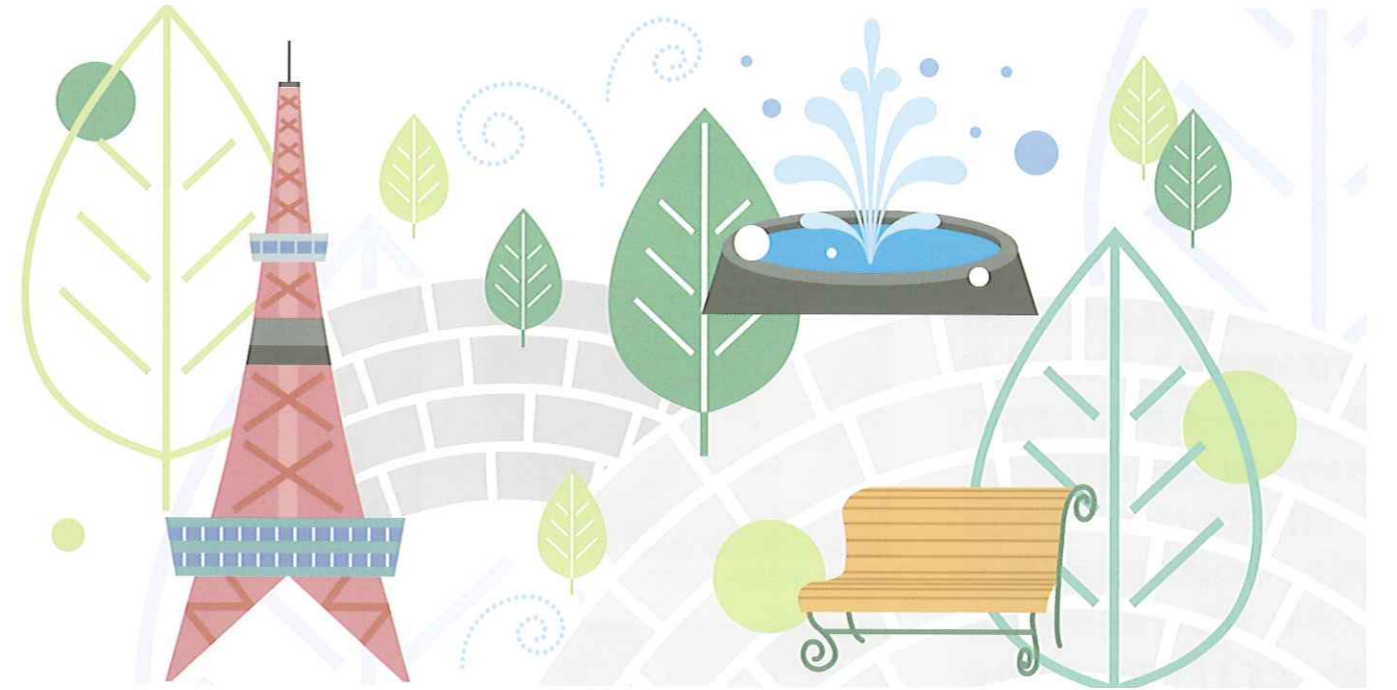
たりのキャラクターです。

フクロウの名を持つアウルですから、館内にはさまざまなフクロウがいます。北海道在住の造形作家・小笠原み蔵さんの手によるジャズプレイヤーのトリオをはじめ、デザインや素材も多種多様。そして、その数は今も着々と増え続けているのです。



ふくろうの家 その19 2011年7月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



スタッフ リレーエッセー

FISH(フィッシュ)哲学

病院に勤務していた時に出席した講演会で、「FISH(フィッシュ)哲学」という考え方を学びました。

●FISH…生きがい、飛びはねる
＜活きのいい職場への4つのコツ＞

- 🐟 仕事を楽しむ
- 🐟 相手を喜ばす
- 🐟 関心を向ける(仕事や相手に)
- 🐟 態度を選ぶ(明るく笑顔で挨拶を)

顧客や同僚に楽しい雰囲気です。支援の手をさしのべる。耳を傾ける。暖かく接する。しっかり向き合う。

どんな一日にするかは自分で選べる。泣いても笑っても一日は過ぎていく。だったら、笑顔で一日過ごしたほうが相手も自分もよい日になることができる…という内容でした。

学んだことを心に、明るく笑顔で元気に勤務できるよう心がけ、ご入居者様がここに住んでよかったですと思えるよう、お手伝いできればと考えています。

※FISH哲学…米国シアトルの魚市場で生まれた意欲的な職場づくりのための実践論。



看護科長 若杉ひろ子

今日のらんこ



ちょっとおすまし

アウルコート
のいやし課長
キャバリアの
「らんこ」です

ことばのトピラ

食中毒

菌から身を守るには
手洗い励行が必須

気温が上昇し、湿度が高くなる季節には、食中毒の原因となる菌が増殖しやすくなります。食中毒菌から身を守るには、「手洗い」が大切。帰宅後やトイレ後、食事前には必ず手を洗いましょう。



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>

未曾有の東日本大震災

代表取締役 武田 治信

未曾有の東日本大震災から早くも4カ月が過ぎました。いまだに瓦礫の撤去もままならない所が多く、被害にあわれた方々には大変な苦悩であったと思います。言葉の掛けようも思いつきません。一日も早い復興を願わずにいられません。ひるがえって、今私がこうして、無事に過ごしていることに感謝するばかりです。東北地方等のことを思うと心苦しいばかりですが、札幌もようやく春が来て初夏の時候になりました。今年はなかなか気温も上がらず、春とは名ばかりの日々であったような気がします。この時期の札幌は一斉に草木が芽を出し、つぼみがほころび花咲く時。多くのものの成長の季節です。ようやくその時季を迎え、そんな風景を目にしながらかつた日々をとしたいと思います。

成長といえば、ホームもこの4月で4周年を終え、5年目に入りました。開設記念日にはお餅つきをして、お祝いの意味も込め紅白のお餅にして、皆様に召し上がっていただきました。開設当初より介護、看護スタッフは増員になりましたが、ケアの質向上に向け課題は尽きません。研修会等に積極的に参加し、他の有料老人ホームで働く多くの仲間と交流することで、私たちに、有料老人ホームだからこそ出来るケアのスタイルを追求していきたいと思うこの頃です。入居状況もほぼ満室となり、入居されているお一人おひとりにご満足をいただける暮らしを送ってもらえるよう模索していきます。これからも、皆様に喜んでもらえる行事、日々の生活を皆で考えていきますので、よろしくお願いたします。

時間があれば、 できる限り外へ

例年より少し遅く訪れた今年の春。暖かくなってきてからは、外出行事を数多く実施しています。

恒例となったティータイムのおでかけは、4/8(金)・23(土)・29(金)・30(土)に六花亭へ、5/28(土)に喫茶しいの実へ行きました。また、今年3月からは「お誕生月の外食」を企画。その月に誕生日を迎えるご入居者様と職員が、とんでんで好きなメニューを選び、お祝いのランチを楽しんでいます。

5月には「はとバスツアー」と題する初の試みを3回実施。バスガイド経験のある介護職員がバスガイドに扮して案内役を務め、札幌市内の観光名所を巡りました。また、6/15(水)にはサンピアザ水族館を1時間以上かけてゆっくり見学。かわいいカワウソと握手もでき、大満足のおでかけとなりました。



▲とんでんで好きなお寿司に舌鼓



▲4月生まれの3人でお誕生月の外食



▲「はとバスツアー」で訪れた大倉山ジャンプ競技場でパチリ



▲おいしいひとときにつこり



▲恒例になった六花亭でのティータイム



▲水族館でカワウソと握手



▲かわいいペンギンにも会えました

こまやかな調整で おでかけを実現

今年のアウルは外出行事に力を入れています。職員が構成するアウル内のCS(顧客満足)向上委員会が、今年の方針として打ち出しました。「外出に適したシーズンは限られています。近場でも訪れていないところは多く、参加率が少なくても積極的に外出の機会をつくろうと考えました」と武田施設長は話します。

アウルの外出行事は、日時と行き先を決めて館内に告知するだけではありません。訪問診療などご入居者様お一人おひとりのご予定を把握した上で、職員からお声がけをし、ご希望を伺っています。事前に予定を決めると寝付けなくなる方には、ご都合を確認した上で、当日お声をかけることもあります。

複雑な調整が必要になるときもありますが、ご入居者様の笑顔を求め、寒くなるまで外出行事をたくさん企画する予定です。

北国の短い夏だから、積極的に外出を 楽しみなおでかけ行事



▲「はとバスツアー」で大通公園へ

アウルの四季彩々日記

北大落研の「アウル寄席」で 学生噺家さんの話芸を堪能

3/25(金)、「アウル寄席」が初開催されました。出演は北海道大学落語研究会の皆さんで、演目は南無家若鸞(なんやわからん)さんの「作文」と酔亭微笑女(すいていびしょうじょ)さんの「道具屋」。アウル側は耳の遠い方にも楽しんでいただけるかどうかを心配していたのですが、さすが46年の歴史ある北大落研。高齢者施設の慰問

経験も多く、マイクなしの話芸で大いに笑わせてくれました。



●3/15(火) 施設長、セミナーで発表

札幌・岩見沢の両市から全6カ所の老人ホームが参加した「有料老人ホームセミナー in 岩見沢」に武田施設長が出席。アウルの特徴と想いを語りました。



●4/1(金) 4回目の開設記念日

アウルが5年目へと踏み出した節目の日。お昼にはお赤飯のお祝い御膳、午後には杵と臼でついたばかりのお餅を食べ、紅白餅をつくり、記念日を祝いました。



●3/31(木) 鏡のフレーム手描き細工

好評の創作活動で、この日取り組んだのは鏡のフレーム装飾。下絵の付いた木枠を自由に彩色し、個性豊かなオリジナルの一点もののできあがりしました。



●5/7(土)～9(月) みんなでお花見

今年のお花見は、豊平区平岸にある独立行政法人の寒地土木研究所を初訪問。期間限定で公開される構内約200本のチシマザクラは、ちょうど見ごろでした。

